

株主のみなさまへ

第52期 事業報告書

2004.3.1 ~ 2005.2.28

 **TSUTAYA**

 **BOOK-OFF**

 **Media**
Polis

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよこび申し上げます。平素のご支援、ご愛顧に対し、厚くお礼申し上げます。また、このたび新たに株主となられた皆様に対し心からお礼申し上げますとともに、今後とも末永くお付き合いいただきたく、よろしく願い申し上げます。

それでは、52期の事業概況等につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当期におけるわが国経済は、米国や中国をはじめとした世界経済の回復を背景に、企業収益の改善が続き、景気は回復基調の兆しが見えてまいりました。

小売業界におきましても、雇用環境に改善が見え始めましたが、原油価格の高騰、度重なる自然災害、暖冬などの天候状況からも若干の影響が見られた結果となりました。

こうした環境下で、当社は収益の向上を図るため、経営の効率化や財務体質の強化を推進めながら既存事業の見直しを行い、事業の選択と集中を図るためファッション事業のうち、紳士服販売店舗15店舗を譲渡いたしました。

カルチャー事業では2店舗を営業譲渡し、1店舗を業態変更、中古書籍販売店舗3店舗を出店し、子会社の合併と不採算店舗の見直しを行い、収益強化と営業の効率化を推進めてまいりました。また、昨年の夏に開催されましたアテネオリンピックの影響もあり、DVDレコーダーや液晶テレビなどの家電製品の普及にはずみが付き、それに伴い映像DVDを中心に販売・レンタルともに売上を伸ばしました。

中古書籍部門につきましては、店舗の改装を積極的に行い、買取りを強化して品揃えを充実させたことにより、売上を伸ばしました。

ファッション事業につきましては、店舗譲渡により売上高の減少と閉店セールによる粗利高の減少、天候異常による影響もあり大幅な収益

の減少となりました。

期末の店舗数につきましては、63店舗（前期末75店舗：12）となっております。

これらの結果、当期におきましては、売上高16,153百万円（前期比3.6%）、経常利益431百万円（前期比25.4%）、当期純利益308百万円（前期比6.0%増）となりました。

部門別概況

カルチャー事業

当部門の売上高は、中古書籍・ゲーム販売、DVDのレンタル・販売が好調に推移し、また、子会社の合併による店舗数の増加で13,190百万円（前期比6.7%増）となりました。

ファッション事業

当部門の売上高は、紳士服販売店舗15店舗を譲渡したことにより2,962百万円（前期比32.6%）となりました。

今後の方針

今後の経済の見通しにつきましては、企業業績の拡大基調が続くものと思われませんが、原油価格の原材料価格上昇による景気の下押し圧力が強まること懸念され、個人消費につきましては慎重な行動が予想されることから、景気回復の勢いは弱まるものと思われま

この様な状況の中で当社といたしましては、事業の選択と集中のため、既存事業を見直し、事業の生成発展の継続を目指してまいります。

カルチャー事業におきましては、お客様・従業員に満足いただく「店舗作り」を目指し、また、DVDレコーダー、デジタル音楽プレーヤー等の普及率の高まり、インターネットによる配信ビジネスの登場等によりレンタル、販売ともお客様動向の変化が予測されますが、当社はより強いカルチャー事業構築に向け、次世代ツタヤへのシフトを推進・検証、積極的な出店による地域のドミナント化及び新たな商圈への挑戦、環境整備、人材育成、商品力を更に強化し、増収・増益体制の構築に取り組んでまいります。

ファッション事業におきましては、営業の個店別対策を重視し、地域性、客層に合わせた商品構成、営業施策を立て、また、お客様の再来店頻度を向上させるため、商品提案力、接客サービス力を強化、充実させてまいります。

経営課題と致しまして、費用対効果の検証による経営の効率化や財務体質の強化を推し進め、また、ファッション事業の縮小による事業バランス・構造変化に留意しつつ業績の伸展に全力を上げて邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜いますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行宏

- 資金調達の状況

出店及び業態変更に伴う設備投資資金は、自己資金及び銀行借入によりまかなっております。

- 設備投資の状況

当期は、カルチャー事業におきまして中古書籍店3店舗を出店し、さらに子会社を吸収合併したことにより4店舗を獲得し、ファッション事業におきましては2店舗を出店しました。各事業部への有形固定資産への設備投資額は、カルチャー事業 196百万円、ファッション事業 21百万円となりました。これ以外に、賃借物件を購入したことにより有形固定資産への設備投資額は149百万円となりました。

この結果、当期の設備投資総額は、367百万円となりました。

- 子会社合併の状況

経過

株式会社ラブックスにつきましては、平成16年9月1日に当社を存続会社として合併しました。

また、株式会社ジーエムエスは、平成16年8月13日の株式の追加取得により出資比率100%となり、連結子会社から子会社となりました。同社の主要な事業内容は、当社ツタヤ座間店の店舗不動産の賃貸であり、資産及び売上高等からみて重要性は乏しいものと判断されます。

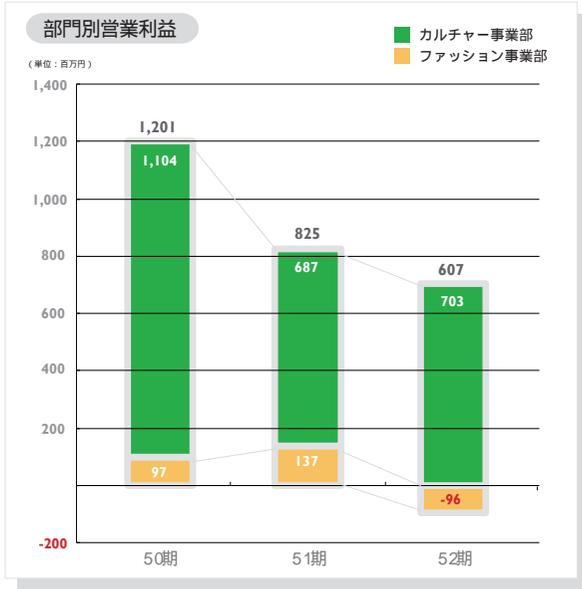
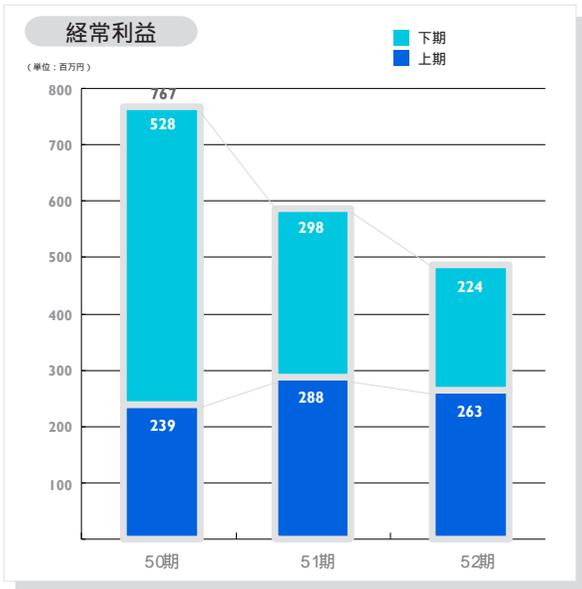
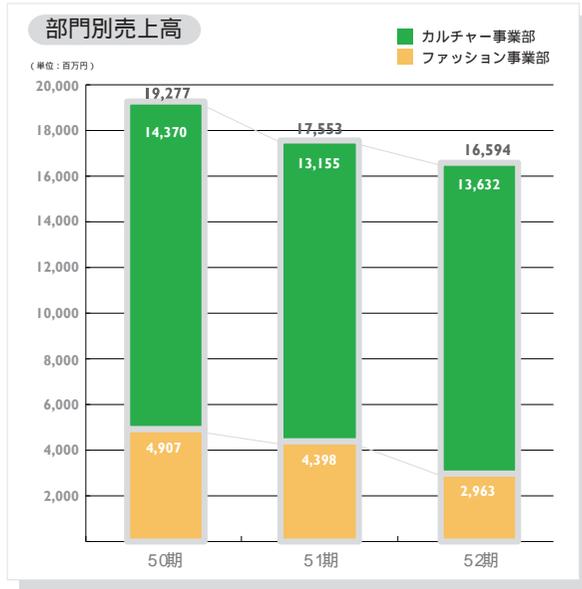
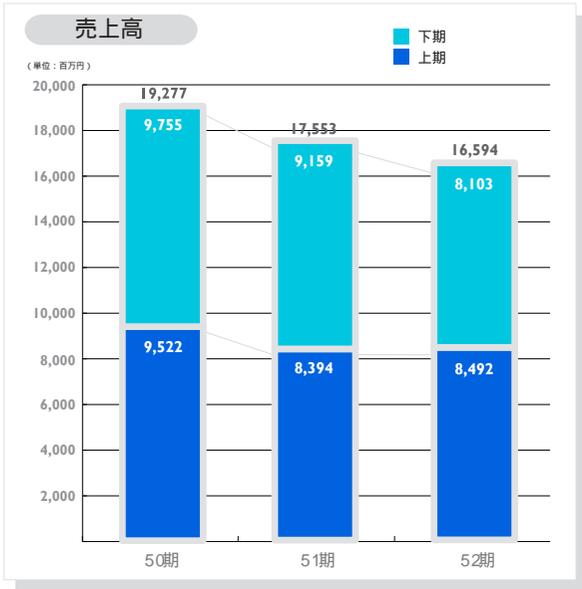
成果

決算日現在存在する連結子法人は、株式会社ジーエムエスの子会社1社であります。当期の連結売上高は16,594百万円、連結当期純利益は342百万円となりました。

- 主要な営業所及び店舗

事業所名	所在地	店舗数
本部	静岡県沼津市	
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	22店舗
	神奈川県座間市他	14店舗
	東京都府中市他	3店舗
	愛知県名古屋市他	3店舗
	京都府京都市他	2店舗
	埼玉県狭山市他	2店舗
紳士服店舗	静岡県沼津市他	5店舗
カジュアル店舗	静岡県函南町他	7店舗
レディース店舗他	静岡県沼津市他	5店舗
合計		63

連結 決算ハイライト



連結 貸借対照表

(単位 : 千円)

	5 2 期末 (A)	5 1 期末 (B)	(A) - (B)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金 1	3,652,583	2,447,973	1,204,610
受取手形及び売掛金	87,277	119,351	32,074
棚卸資産 2	1,797,520	2,374,317	576,797
その他流動資産	447,297	745,299	298,002
固定資産			
有形固定資産	6,369,143	6,779,956	410,813
無形固定資産	277,486	310,690	33,204
投資その他の資産	4,465,721	4,845,460	379,739
資産合計	17,097,031	17,623,049	526,018
負債・資本の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金 3	857,823	1,543,099	685,276
短期借入金	2,702,779	2,126,406	576,373
その他の流動負債	860,608	1,099,709	239,101
固定負債			
社債	800,000	840,000	40,000
長期借入金及びその他の固定負債	1,375,095	1,894,513	519,418
負債合計	6,596,305	7,503,727	907,422
少数持株分	0	3,109	3,109
資本			
資本金	2,546,671	2,546,671	0
資本剰余金	2,674,144	2,674,144	0
利益剰余金	5,088,251	4,814,676	273,575
その他有価証券評価差額金	191,974	81,035	110,939
自己株式	317	317	0
負債合計	10,500,723	10,116,209	384,514
負債・少数持株分・資本合計	17,097,031	17,623,049	526,018

1 現金及び預金

売上以外での増減要因	
・ 敷金、建設協力金の回収	7 1 8 百万円
・ 短期借入金の増加	5 7 6 百万円
・ 営業譲渡による収入	6 7 5 百万円
・ 営業譲受による支出	1 4 3 百万円

2 棚卸資産

・ カルチャー事業	4 百万円
・ ファッション事業	5 7 2 百万円

【増減要素】

カルチャー事業 ブックオフ3店舗出店 (増)
ブックオフ榛原・焼津、TSUTAYA上社・本山 譲渡、その他2店 閉店 (減)

ファッション事業 15店舗譲渡 (減)

3 支払手形及び買掛金

・ カルチャー事業	5 8 百万円
・ ファッション事業	6 2 7 百万円

上記の内、ファッション事業の支払手形の金額 4 5 8 百万円

連結 損益計算書

(単位 : 千円)

	52期 (A)	51期 (B)	(A) - (B)
売上高 ¹	16,594,314	17,553,411	959,097
売上原価	9,992,955	9,933,882	59,073
売上総利益 ²	6,601,359	7,619,528	1,018,169
%	39.8%	43.4%	3.6
販売費及び一般管理費 ²	6,405,105	7,263,241	858,136
営業損益	196,254	356,287	160,033
%	1.2%	2.0%	0.8
営業外収益	981,595	832,606	148,989
営業外費用	690,979	603,000	87,979
経常利益	486,870	585,893	99,023
%	2.9%	3.3%	0.4
特別利益 ³	348,888	97,284	251,604
特別損失	128,640	68,422	60,218
税引前損益	707,118	614,755	92,363
%	4.3%	3.5%	0.8
法人税等	347,511	342,225	5,286
少数株主損益 (控除)	16,975	8,338	25,313
当期純損益	342,632	280,868	61,764
%	2.1%	1.6%	0.5

1 売上高

- ・カルチャー事業 477百万円
- ・ファッション事業 1,436百万円

959百万円

カルチャー事業は店舗数増、売上好調推移となるが、ファッション事業は店舗譲渡による店舗数大幅減により売上も縮小している

2 売上総利益・販売管理費

売上高減から売上総利益は減少。ただし、販売費及び一般管理費も減少し、売上高に対する比率は2.8%低下。

3 特別利益

ファッション事業における、店舗譲渡益として287百万円



連結 キャッシュフロー計算書

(単位 : 千円)

	52期 (A)	51期 (B)	(A) - (B)
営業活動によるキャッシュフロー	368,081	1,399,319	1,031,238
投資活動によるキャッシュフロー	1,017,461	49,564	1,067,025
財務活動によるキャッシュフロー	170,957	885,136	714,179
現金及び現金同等物の増減額	1,214,586	464,617	749,969
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,695	1,406,077	464,618
現金及び現金同等物の期末残高	3,085,281	1,870,695	1,214,586

株式の状況

大株主

(2005年2月28日現在)

株主名	議決権数 (議決権比率)
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920 (37.8%)
後藤 行宏	1,058,558 (11.4%)
後藤 菊枝	672,832 (7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000 (5.6%)
ゴトー共栄会	460,800 (5.0%)
後藤 全弘	456,950 (4.9%)
株式会社U F J 銀行	321,000 (3.4%)
スルガ銀行株式会社	308,000 (3.3%)
日本ジャンボ株式会社	188,900 (2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000 (1.8%)

■ 会社が発行する株式の総数	24,634,000株
■ 発行済株式の総数	9,207,753株
■ 株主数	550名 (前期比112名増)

株式・出来高の推移



役員

(2005年5月30日現在)

代表取締役社長	後藤 行宏 ・平成9年11月 代表取締役副社長 ・平成13年5月 代表取締役社長 (現任) (有ゴトーエンタープライズ 代表取締役)
代表取締役専務	後藤 久徳 ・平成9年11月 取締役商品一部長 ・平成13年5月 常務取締役 ファッション事業本部長 ・平成15年3月 常務取締役 カルチャー事業本部長 ・平成17年5月 事業本部長
常務取締役	土橋 文彦 ・昭和50年4月 株 静岡銀行入行 ・平成15年5月 株 ゴトー出向 経営企画室室長 ・平成17年5月 常務取締役 管理本部長兼総合企画部部長



株式事務についてのご案内

決 算 期	2月末
基 準 日	定時株主総会関係/2月末 利益配当金支払株主確定関係/2月末 中間配当金支払株主確定関係/8月31日 その他/予め公告する日時
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4番 3号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事 務 取 扱 所	東京都江東区東砂七丁目 10番 11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 5683-5111 (代表)
取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100

お知らせ

株式会社 ゴトー

〒410-0063 静岡県沼津市緑が丘10-1

(055)923-5100

ゴトーホームページ

<http://www.gms.co.jp/goto/>